

一般財団法人速日の峰振興事業団 経営健全化方針

1. 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日：2019 年 2 月 12 日

作成担当部署：延岡市北方総合支所地域振興課

2. 第三セクター等の概要

法 人 名：一般財団法人 速日の峰振興事業団

代 表 者：代表理事 甲斐 克則（延岡市北方総合支所長）

所 在 地：延岡市北方町早中已 1183 番地

設立年月日：1995 年（平成 7 年）3 月 20 日

資 本 金：60,000 千円 【延岡市出資割合：100%】

業 務 内 容：（一般財団法人速日の峰振興事業団定款）

1. 延岡市の諸施設の管理運営の受託
2. 勤労者等の余暇活動及び交流人口増加対策に関する調査並びに情報の収集及び提供
3. 各種の体験実習、研修、講習、交流事業、イベント等の企画及び運営
4. スポーツ団体、学校等の交流促進に関する事業
5. 公共団体及び民間団体と連携する共同事業の企画及び運営
6. 飲食物その他の物品の販売施設の設置及び運営に関する事業
7. 簡易郵便事業
8. その他この法人の目的を達するために必要な事業

3. 経営状況、財政的なリスクの現況及びこれまでの市の関与

<一般財団法人 速日の峰振興事業団の財務状況>

	項目	金額（千円）		
		27 年度	28 年度	29 年度
貸借対照表から	資産総額	97,201	61,010	52,163
	（うち現預金）	25,888	8,629	10,158
	（うち売上債権）	492	189	4
	（うち棚卸資産）	1,007	568	685
	負債総額	32,047	6,312	5,091
	（うち地方公共団体からの借入金）	0	0	0
	正味財産	65,153	54,698	47,072

	項目	金額（千円）		
		27 年度	28 年度	29 年度
正味財産増減計算書から	経常収益	314,683	238,322	36,665
	経常費用	318,528	247,692	44,291
	経常損益	△3,844	△9,370	△7,626
	経常外損益	△71	△1,086	0
	当期純損益	△3,915	△10,456	△7,626

※28 年 12 月末をもって道の駅北方よっちみろ屋の受託終了

<市の財政的関与>

項目		金額（千円）			備考
		H27 年度	H28 年度	H29 年度	
①	運営補助金	0	0	0	
②	①以外の補助金	0	0	0	
③	指定管理料	18,990	16,000	16,000	ETO ランド管理運営
④	事業委託料	0	0	0	
⑤	税の減免額	0	0	0	
⑥	短期貸付金	0	0	0	
⑦	長期貸付金	0	0	0	
⑧	その他	0	0	0	

＜監査、評価の実施方法＞

市では、市職員が当財団の理事となり決算等の審査を行うほか、毎月、毎年の実績報告書の市への提出の義務付け及び市監査委員による監査を必要に応じて実施している。また、市関係部で構成する第三セクター等経営改善検討会議において毎年、経営内容の評価を実施している。

4. 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

当財団では平成 28 年 12 月末をもって道の駅北方よっちみろ屋の受託を終了した。現在（平成 29 年度）、当財団の経常損失は ETO ランドの運営に係るものであるため、本方針では、ETO ランドの経営健全化について検討を進める。

ETO ランドは六峰街道沿いの速日の峰に位置し、平成 7 年にメイン施設である人工芝スキー場をはじめ、バンガローや芝生広場、アスレチック等を備えた観光レジャー施設として営業を開始した。キャンプ場等を有する鹿川地区や道の駅北方よっちみろ屋などとともに、北方町における地域振興の一角を担ってきた施設である。

しかしながら、その後の社会情勢の変化等により利用者が減少し、経営的に厳しい状況となったため、平成 25 年度に人工芝スキー場を廃止することで経営の見直しを図り、以降、残る施設で運営を続けている。

現在、ETO ランドはバンガロー等の宿泊施設や遊具などを備えた観光施設であるとともに、壮大な自然の中で憩いの場を提供する公園の役割など公益的な意義があり、本市北方町の拠点となる施設として今後も地域振興の役割を担うこととする。

①－１ ETO ランド入園者数推移

年度／項目	入園者	
	人数（人）	前年度比（％）
H27	7,580	—
H28	8,580	113.2
H29	6,772	78.9

※人数減は台風や積雪等による影響

①－２ ETO ランド入園者数推移（各年４月～１１月期までの比較）

期／項目	入園者（１１月期）	
	人数（人）	前年度比（％）
H27.11月まで	5,763	—
H28.11月まで	6,600	114.5
H29.11月まで	4,874	73.8
H30.11月まで	6,341	130.1

②－１ ETO ランドの営業収益入推移

年度／項目	営業収益	
	金額（千円）	前年度比（％）
H27	17,631	—
H28	16,185	91.8
H29	16,081	99.4

②－２ ETO ランドの営業収益入推移（各年４月～１１月期までの比較）

期／項目	営業収益	
	金額（千円）	前年度比（％）
H27.11月まで	12,292	—
H28.11月まで	11,091	90.2
H29.11月まで	10,347	93.3
H30.11月まで	11,209	108.3

③－１ ETO ランドの支出額推移

年度／項目	支出	
	金額（千円）	前年度比（％）
H27	44,187	—
H28	41,486	93.9
H29	39,480	95.2

③－２ ETO ランドの支出推移（各年４月～１１月期までの比較）

期／項目	支出	
	金額（千円）	前年度比（％）
H27.11 月まで	28,891	—
H28.11 月まで	25,485	88.2
H29.11 月まで	25,581	100.4
H30.11 月まで	23,148	90.5

５．抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

<事業の現況>

最も収益に貢献しているのは小学生宿泊体験事業（キャンプ）である。本事業は市内外の小学生を対象に１泊または２泊のキャンプを行うもので、平成 29 年度には過去最高となる 874 名が参加し、ETO ランドの主要事業に育っている。

当事業は近隣市町村に類似事業が無いため競争力が高い事業となっており、親元を離れ子どもたちだけで寝食を共にするという非日常の体験が最大の魅力となっている。

一方、バンガローの一般宿泊はゴールデンウィークや夏休みなどに集中しており、それ以外の期間の稼働率をどう上げるかが課題である。

遊具については、ゴーカートや電動カート、アスレチック、パターゴルフ等がある。この内、ゴーカートは遊具の中では最も収益力が高くなっているが、それ以外の遊具については ETO ランド全体の収益に占める割合は比較的小さい。また全体的に設備の老朽化も目立ってきている。

公園施設としては、ETO ランド内に 1.2ha の多目的の芝生広場があり、雄大な自然の中で安心して遊べる憩いの場を提供している。

さらに、868 メートルの標高を誇る ETO ランドは、東に日向灘や延岡市街地、行徳山を見おろし、北にユネスコエコパークエリア、西に阿蘇山系を望むなど、一級品の眺望を備えている。

＜経営改善の基本的な方針＞

ETO ランドの営業収益は、事業の積極展開や経費の徹底した見直し等により、前年度比で 28 年度は 1,255 千円の改善、29 年度は 1,902 千円改善した。

さらに平成 30 年度の 11 月期決算では前年同期比約 3,300 千円の収支改善を達成している。

当財団の平成 29 年度の経常損失実績が 7,626 千円であることを踏まえると、平成 30 年度の経常損失は 4,500 千円程度まで圧縮されると見込まれる。

こうしたことから本計画では、今後 5 年間で、残る約 4,500 千円の損失解消を目標に収支改善に取り組むこととする。

具体的には、ETO ランドは観光施設であるとともに、誰もが気軽に訪れ憩う公園的な役割も併せ備えているが、収益を上げるという観点では、宿泊を伴う事業が施設使用料や他事業部門売上への波及効果が高いことから、次のとおり、宿泊施設を有効に活用した事業を中心に収支改善を図っていく。

＜収支改善に向けた主な取り組み＞

（１）小学生宿泊体験事業（キャンプ）の拡充

本事業は宿泊施設の他、食堂や遊具等、他事業部門の売上増にも波及し、収益に大きく寄与している。近隣市町村に類似事業が無いため優位性が高く、リピーターなど延岡ファンを生み出す波及効果も認められる。

このため、これまで本事業の積極展開を図り、年々参加者、収益ともに増加傾向にある。

しかしながら、申し込みが最少催行人数に満たず実施できないケースへの対策や参加人数の増加に伴い増える必要経費の削減など、改善できる余地はまだあるため、効果的なターゲット（小学校など）の選定や PR などを図るとともに、プログラムや人員配置の見直し等により事業の効率化を図り、売り上げ増を目指す。

また、ヘルストピア延岡や須美江家族旅行村等の市内施設との連携を強化し、事業の相乗効果と魅力をさらに高めていく。

（２）スポーツ団体の合宿誘致

ふれあい広場は 1.2ha の芝生広場で、スポーツ専用ではないものの、種目によっては練習等が可能である。30 年度は中学生のラグビークラブ等の宿泊利用があった。

さらに ETO ランドへのアクセス道路である六峰街道の入り口には体育館やグラウンド等を備えた北方総合運動公園があり、当施設の利用者が合宿を行う場合、ETO ランドが最も近い宿泊施設となる。30 年度は県外大学の運動部の合宿による宿泊利用があった。

また、市内でスポーツ大会がある場合の選手の宿泊施設としても活用が期待で

きる。

スポーツ合宿についてはこれまで積極的に営業活動をしてこなかったため、この部門が伸びる可能性は十分見込まれる。北方総合運動公園とも連携し、旅行業者をはじめ、各教育機関やスポーツクラブへの営業活動、WEB サイトや SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用した情報発信などを通じ積極的に事業を展開していくとともに、本市のアスリートタウン構想に寄与していく。

（３）延岡の食を活かした宿泊（バンガロー）プランの提供

バンガローは 7 棟あり、速日の峰の壮大な自然環境の中、非日常の体験ができる場所である。

稼働は 5 月と 8 月が最も多く、それ以外の月の稼働率を如何に上げるかが課題である。

このため、道の駅をはじめ関係団体等と連携し、本市の誇る豊かな食をバーベキューの食材として提供し、バンガローの訴求力を高める。調理品を提供する場合に比べ、労力を抑えるメリットもある。

手ぶらで訪れ、バンガローに備え付けのバーベキュースペースにて、本市の農林水産物を気軽に楽しみながら味わうことができる宿泊プランを、大手旅行業者の WEB サイトや SNS 等を活用して提案していく。

また、宿泊プログラムの提供について、市内の各イベント等と連携するなど有機的な結び付きを強化し、バンガローの稼働率を上げていく。

（４）宿泊事業以外の改善策

ETO ランドの強みは市内他施設に類を見ない眺望の良さである。このためアジサイ植栽などの整備や元旦の初日の出イベントなど、自然、環境を活かした取り組みを実施している。今後も景観の整備をいっそう図り、一級品の眺望を備えた憩いの場の提供に努め集客を図る。

さらに今後は PR 媒体として Facebook や Instagram、Twitter など、SNS の活用に力を入れ、安価で効果的、効率的な情報発信を行っていく。

（５）経費削減

事業（イベント）実施にあたっては、プログラム内容の精査により人員配置やその他経費において効率的な運営に努めていく。

また、光熱費については新たな小売電気事業者と契約し、大幅な削減を図っているが、さらに LED 照明への交換やこまめな消灯などによる光熱費削減に努めるほか、清掃など委託業務の見直し、徹底した在庫管理による売上原価の削減、作業の効率化による公園維持費の削減等、徹底的な効率化と経費削減を図っていく。

(6) まとめ

経営改善に取り組むにあたっては、利用者アンケートによるニーズ把握、意識調査を行うとともに、事業実績や収支の分析、企画立案等を行う経営検討会議を、市担当課と当財団により年間にわたって密に実施していく。

以上の取組により、今後5年間(2023年まで)で、2018年度比、売上高において約290万円の増、及び支出において約160万円の削減、総額約450万円の収支改善を図り経常損失を解消する。

また、目標達成後においても、市と連携し不断の経営改善に努め、健全経営を図っていく。

新規・拡大事業の収入見込み

(事業拡大)小学生キャンプ

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2018年度比増減
売上高(千円)	10,289	10,489	10,689	10,889	11,089	11,289	1,000千円
利用者数(泊)	902	920	938	955	973	990	88泊

(新規)スポーツ合宿

	2,018	2019	2020	2021	2022	2023	2018年度比増減
売上高(千円)	—	290	393	495	598	700	700千円
利用者数(泊)	—	69	93	117	142	166	166泊

(新規)BBQ付きバンガロー宿泊プラン

	2,018	2019	2020	2021	2022	2023	2018年度比増減
売上高(千円)	—	160	295	430	565	700	700千円
利用者数(泊)	—	25	47	68	89	111	111泊

売上高合計

	2,018	2019	2020	2021	2022	2023	2018年度比増減
売上高(千円)	—	10,939	11,377	11,814	12,252	12,689	2,400千円
利用者数(泊)	—	1,014	1,077	1,141	1,204	1,267	365泊

収支計画

(円)

		2018年	2023年	増減
収 入	管理運営委託料	16,000,000	16,000,000	0
	諸収入(利息)	9,000	9,000	0
	売上高	17,084,000	20,001,000	2,917,000
	合計	33,093,000	36,010,000	2,917,000

支 出	人件費	14,394,000	14,368,000	△ 26,000
	研修費	5,000	5,000	0
	会議費	140,000	140,000	0
	旅費	261,000	291,000	30,000
	需用費	8,431,000	7,607,000	△ 824,000
	役務費	1,244,000	1,233,000	△ 11,000
	賃借料	1,015,000	1,015,000	0
	委託料	3,961,000	3,705,000	△ 256,000
	イベント開催費	2,662,000	2,785,000	123,000
	負担金	176,000	148,000	△ 28,000
	備品購入費	2,000	2,000	0
	租税公課費	871,000	880,000	9,000
	公園維持費	355,000	150,000	△ 205,000
	売上原価	3,700,000	3,550,000	△ 150,000
	雑費	376,000	131,000	△ 245,000
	合計	37,593,000	36,010,000	△ 1,583,000

収支	▲ 4,500,000	0	4,500,000
----	-------------	---	-----------

＜参考写真＞

センターハウス



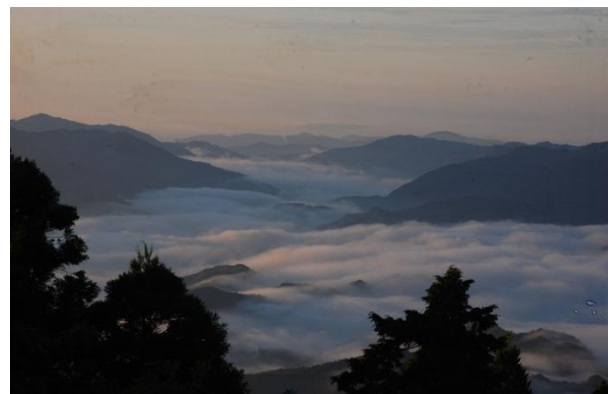
バンガロー



小学生キャンプ



眺望



ふれあい広場（芝生広場）



バーベキュースペース（バンガロー付属）



小学生キャンプ



元旦フェスタ (2019. 1. 1)

